

看護教育論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・永井 睦子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：93

■ 授業概要

看護教育制度の歴史的発展過程と現状と課題、看護学におけるカリキュラム、学習における理論、教育方法、教育評価について理解する。看護職として必要な継続教育の機会、方法などを学び、キャリア発達の視点から看護専門職として自律的に学び続ける基盤となることを目指す。

■ 到達目標

1. 看護教育制度の歴史的発展過程と現状と課題について説明できる。
2. 看護教育カリキュラム、学習における理論、教育方法、教育評価について説明できる。
3. キャリア発達の視点から看護専門職として自律的に学び続ける基盤を身につけることができる。

■ 教育内容

看護の統合と実践

■ キーワード

看護教育、看護教育制度、看護継続教育制度、生涯学習、授業デザイン、授業リフレクション、教育方法、教育評価

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	教育とはどのようなことなのか 人間の成長発達と教育 教育の場	看護教育論を学ぶ意義 人間の成長発達における教育 社会における教育 学校教育と家庭教育 学校教育（初等・中等・高等教育） 教育基本法、教育の目的、学ぶ権利 （講義）	永井
2	日本の看護教育制度 看護基礎教育	看護制度の原点、成立過程 日本の看護教育制度の歴史の変遷 看護基礎教育のカリキュラムの現状 准看護師制度 （講義）	永井
3	日本の看護継続教育制度 看護の専門性	日本の看護継続教育 大学院教育 院内教育、院外教育 認定看護師、専門看護師 特定行為に係る看護師の研修制度 （講義）	永井
4	成人学習者の特徴と学習理論 生涯学習 キャリア発達	成人学習者の特徴 成人学習の理論 ペタゴジーとアンドラゴジー 大人の学びの特徴 生涯学び続けるということ キャリア発達、キャリアラダー キャリアマネジメント （講義）	永井
5	看護教育における授業の特徴 授業デザインと授業リフレクション	看護教育における授業の特徴 授業デザインの基本的考え方 授業デザインと授業設計の違い 授業リフレクションの基本的理解 （講義）	永井

6	<p>授業デザインと授業リフレクションの実際 臨地実習での学習</p>	<p>授業デザインの実際 授業リフレクションの実際 教育方法としての臨地実習 臨地実習での学びの特徴 臨地実習での課題 (講義・グループワーク)</p>	永井
7	<p>教育方法の種類 看護教育における教育方法 教育評価の考え方 看護教育における教育評価</p>	<p>教育方法の種類と特徴 看護教育における教育方法の特徴 教育評価の一般的理解 自己評価と他者評価 看護教育における教育評価 (講義)</p>	永井
8	<p>諸外国における看護教育 日本のこれからの看護教育</p>	<p>諸外国における看護教育 日本の医療提供体制と看護職の現状 医療施設の再編と看護教育への影響 今後の看護教育の課題と人材育成 (演習・講義)</p>	永井

■ 履修条件

特になし。

■ 成績評価方法

レポート 80%、授業への参加度・態度 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・ レポートのフィードバックは、コメントを付して返却し行う。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考書・参考資料等

- ・ 目黒悟(2016)『教えることの基本となるもの；「看護」と「教育」の同型性』メヂカルフレンド社
- ・ 目黒悟(2010)『看護教育を拓く授業リフレクション；教える人の学びと成長』メヂカルフレンド社
- ・ 目黒悟・永井睦子(2013)『看護の学びを支える授業デザインワークブック；実りある院内研修・臨地実習・講義・演習に向けて』メヂカルフレンド社
- ・ 目黒悟・永井睦子編著(2023)『共にかかわる・共にケアする豊かな看護教育を創る授業デザイン・授業リフレクションの実際 臨地実習編』メヂカルフレンド社
- ・ 屋宜譜美子・目黒悟編(2009)『教える人としての私を育てる；看護教員と臨地実習指導者』医学書院
- ・ ジャック・メジロー、金澤睦・三輪建二監訳(2012)『おとなの学びと変容 変容的学習とは何か』鳳書房
- ・ グレグ美鈴、池西悦子編(2018)『看護教育学 改訂第2版 看護を学ぶ自分と向き合う』南江堂
- ・ 杉森みど里他著(2024)『看護教育学 第8版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・ 授業 1 コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ 45 分程度必要とする。

■ 担当教員からのメッセージ

大学での現任教員として、病院での看護師の経験、看護継続教育の教員の経験、実習指導者講習会の講師の経験等を活かし、看護教育についての講義を行います。

皆さんが今、受けている看護教育について詳しく学びましょう。看護を学んでよかったと思うことや疑問に思っていることなどを確認し、今後、看護の専門職として自律的に学び続けていく姿勢を養っていきましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

永井：研究室 17、nagai★iwate-uhms.ac.jp

必要時、事前に必ずアポイントメントをとってください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

担当教員は医療施設での看護師業務の経験と、大学、短期大学、看護専門学校での看護教員の経験、専任教員養成講習会および実習指導者講習会における教員・講師の経験、認定看護師教育機関の主任教員、看護師特定行為研修の指導者としての経験を有しています。

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

医療施設での看護師業務の経験と、大学、短期大学、看護専門学校での看護教員の経験、専任教員養成講習会および実習指導者講習会における教員・講師の経験、認定看護師教育機関の主任教員、看護師特定行為研修の指導者としての経験を有しています。そうした看護教育における教育経験を活かし、専門的で実践的な授業を行います。